

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 99号

2014/06/30 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：両市場とも週の前半は続落するも、金曜日には再び3年ぶりの高値に

① 最高：9月 LDN 市場 £1,958 /9月 NY 市場 \$3,135 (6/27) 先週比 LDN +£10/NY +\$17

② 最低：9月 LDN 市場 £1,910 /9月 NY 市場 \$3,043 (6/24) 先週比 LDN-£23/NY-\$63

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £48 (傾向↑) / NY 市場 \$92 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN市場 271,723 枚(6/20 終了時)⇒271,737 枚 (6/26 終了時) **+14 枚**

NY市場 217,166 枚(6/13 終了時) ⇒213,807 枚 (6/19 終了時) **-3359 枚**

【6月23日(月)】ニューヨーク、続落＝ロンドン反落

ニューヨーク市場の9月きりは続落し、28ドル(0.9%)安の3080ドルで終了した。コートジボワールの港へのカカオ豆着荷量が高水準になっていることが圧迫要因。ロンドン市場は反落。9月きりは12ポンド(0.6%)安の1923ポンドで引けた。

【6月24日(火)】ニューヨークは4日続落、ロンドンも続落

ニューヨーク市場のココア先物は4営業日続落。前週に約3年ぶり高値を付けたこともあり、調整売りが入った。9月きりは、37ドル(1.2%)安の**3043ドル**で終了。前週19日には、2011年8月以来の高値の3128ドルを付けていた。ロンドン市場の9月きりも続落し、13ポンド(0.7%)安の**1910ポンド**で引けた。

【6月25日(水)】ニューヨーク、5日ぶり反発＝ロンドンも上昇

ニューヨーク市場は5営業日ぶりに反発。9月きりは25ドル(0.8%)高の3068ドルで終了した。同月限月は先週19日、2011年8月以来の高値となる3128ドルを付けたが、その水準に近づきつつある。ロンドン市場の9月きりも反発。10ポンド(0.5%)高の1920ポンドで引けた。

【6月26日（木）】両市場ともに反落

ニューヨーク市場は反落。9月きりは15ドル（0.5%）安の3053ドルで引けた。同限月は先週、2011年8月以来の高値となる3128ドルを付けた。

トレーダーらによると、市場の関心は西アフリカの豊作のミッドクロップ・カカオ豆から、来季のメインクロップ・カカオ豆に移りつつある。ロンドン市場の9月きりも反落し、11ポンド（0.6%）安の1909ポンドで終了した。

【6月27日（金）】両市場とも大幅上昇

ニューヨーク市場の9月きりは82ドル高の3135ドル、ロンドン市場の9月きりは49ポンド高の1958ドルで引けた。

立花商店カカオ豆プレミアム情報 価格条件 C&F主要港

ガーナメインクロップ 2014/2015 :	ロンドン市場	+130~150 £
コートジボアールミッドクロップ :		+70 £
西アフリカミッドクロップ 115 カウント		+20~30 £
ウガンダミッドクロップ		+50~70 £
タンザニアミッドメインクロップ 90 カウント		+80~100 £

*あくまで弊社調査による一般的な価格としてご参照ください。

2、コートジ：急激なカカオ豆価格上昇により農園への投資が進む(6/27)

カカオ業界から得た情報によると、カカオ豆の価格上昇によりコートジの農家は肥料や殺虫剤への投資を増やしており、収穫量が増加する見込みである。

今後起こりうる供給不足に対する懸念や、チョコレート需要の増大により金曜日にカカオ相場が約3年ぶりの高値にまで近づいた。

農家は、世界的な供給不足が予測されると来シーズンにカカオ豆価格が上昇することを期待し、農園を良い状態に維持させるための投資を行う。コートジのほとんどの農園は1980~1990年代から運営が始まり、コンスタントに手を加え、生産力を上げるための投資を行ってきた。

Cocoa Swollen Shoot Virus Disease (CSSVD)*やブラックポッド病のような病気がここ数年、カカオ豆の生産に打撃を与えてきた。

コートジの Soubre 地区の農家は「2, 3年の間、資金不足により自分の農園のケアをできなかった。だけど今年は今までよりたくさんの殺虫剤や防カビ剤を買うことができた。これによってカカオの生産量を増やしてもっと収入を得たい。」と述べた。

カカオ生産者によると2010年以降、肥料の価格が30%ほど上昇している。また殺虫剤や防カビ剤も同時期から25%も上昇している。

コートジは2年前に国内産業のうち10の分野について自由価格制を撤廃し、国際価格の少なくとも60%を農業保証価格として定めることにした。このことは農家の収入を増加させ、生産力を向上させることに貢献してきた。国際ココア機関 (ICCO) は2013/14期の10月から9月までのコートジのカカオ生産量は170万トンに達すると見ている。ちなみに2012/13期は141万5000トンであった。

～より良い農業に向けて～

アルマジロによると、2012年にはコートジ農家のうちたったの11%だけが肥料を買うことができた。しかし2014年には20%の農家が肥料への投資ができるようになった。また殺虫剤を使用する農家は2012～2014年の間に50%から80%へと大幅に上昇した。

アルマジロのディレクターは「農家はここ最近の価格上昇を機に肥料や殺虫剤にお金を投じている。これは生産量にかなりの影響を与える。」と述べた。

こうした状況下で肥料や殺虫剤、防腐剤の輸入業者は、需要増が在庫に余裕を持たせることへの圧力になっていることを確信した。また他の業者は「一般的に、輸入量は昨年より30%上昇した。我々は今後について楽観視している。」と述べた。

ICCO は2013/14期に7万5000トンのカカオ豆の供給不足を見込んでいる。また当局は次の2014/15期も同様に不足が生じると見ている。

しかしコートジにおける生産量増大分は、インドネシ、カメルーン、ナイジェリア、エクアドルでの生産量減少分で相殺されてしまう。

*Cocoa Swollen Shoot Virus Disease とは穀物などに寄生する虫によって媒介されるウイルス株によってカカオが枯死したり、葉を落とすなどカカオの生産に打撃を与える病気である。下図がこの病気にかかったカカオである。



3、コートジ：カカオ豆、大雨により一部作柄に懸念(6/24)

コートジボワールのカカオ豆農家らは23日、沿岸部や南部の主要生産地が先週大雨に見舞われ、ミッドクロープ期（4～9月）の生産に影響が出るとの懸念を示した。ほかの生産地での作柄は順調だという。

沿岸部サンペドロのある農家は「雨が多過ぎる。農地は水浸しだ。樹木についているさやにとっては良い状況ではない」と述べた。南東部アボイソでは「今後1週間、多くの日照がなければ、7～8月に収穫予定のカカオ豆は、樹木についてそのまま腐ってしまうだろう」との指摘も出た。西部ドゥエクエからも同様の報告がされているが、同じく西部のソンプレ、ダロアなどからは順調な生育状況が伝えられており、適度な降水と日照で、7月収穫の豆の品質は良好と見込まれている。東部アベングル、南部ディボでの生育状態も良いという。

4、カメルーン中央部：収穫量増大によりカカオ豆価格下落(6/24)

カメルーン中央部の農家は今週、ミッドクロープの生産増を受け、カカオ豆価格の値下げを受け入れ始めた。カカオ豆価格はメインクロープの生産が落ちたことで、ここ最近はずっと上昇してきた。

しかしカメルーン農家を束ねる代表は「トレーダーは今週、カメルーン豆を安値で取引している。しかし我々はそれを受け入れている。なぜなら、それでもまだこの価格は我々にとって良好である。

カメルーン中央部の価格は他と比べて最も安い。」と述べた。

農家やトレーダーによると Yaounde から 135 km 離れた Bafia 村では今週の kg あたりの値段は 1155～1240 CFA フラン（約 \$ 2.39～\$ 2.57）であった。その1週間前は 1160～1245 CFA フラン（約 \$ 2.41～\$ 2.581）で取引されていた。

カメルーン中央部で全体の約40%のカカオ豆が生産されている。2012/13期のカメルーン全体の生産量は22万9911トンであり依然として悪天候や病気への懸念が残されている。

5、コートジ：カカオ豆着荷量、6月22日に157万2000トンに達する(6/23)

コートジの港へのカカオ豆着荷量は6月22日までに157万2000トンに達した。昨年は129万8000トンであり大幅な上昇となった。輸出業者は6月16日から22日までの間に3万5000トンのカカオ豆がアビジャン港とサンペドロ港へと運ばれると見込んでいる。

6、ネスレ&Cocobod：農家の生活向上を確信(6/22)

ネスレはガーナの Cocobod とパートナーシップを結び、より良い農業を遂行するために農家を訓練している。Nestle Cocoa Action Plan (NCAP) と呼ばれるこの協定は生産量を増やし、病気を減らし、環境を大切に、カカオ豆に高値をつけられるように品質向上を目指している。

この協定は長期的に農家や政府や株主にとって利益をもたらすものとされている。

ネスレのマルティネス氏は「NCAP は農業訓練、新たな農産品、肥料など生産力や品質向上に関わるものだけでなく、教育やジェンダー問題、児童労働に着目した地域の発展についても取り扱う。」と述べた。

また彼女は「我々の目標は、自分たちの製品原料の供給元から一切の児童労働を排除し、代わりに家族経営を尊重し、地域の発展に寄与することだ。」と加えた。

マルティネス氏は「ガーナでは、我々は技術提供のために Cocobod や CRIG (Cocoa Research Institute Ghana) と密に連携をとって活動している。これは地域の統合をもたらす計り知れないほど大きな社会的、経済的な利益を生み出している。」とも伝えている。

NCAP は最善の農業活動における技術や訓練をシェアしあうことで、農家が「利益を得られる農業経営」を実現することが可能となる。これにより持続可能的に品質向上や生産力向上を実現できる。

NCAP では3つの柱を定めている。

- a) ネスレと Cocobod は農家を訓練したり、訓練学校を建設したりするために必要な新たな農地の拡大を綿密に計画する。
- b) 児童労働を排除し、女性や子供に教育や健康、安全な水に対する知識を与えることで社会的生活の向上を目指す。
- c) 長期的な供給、経営と供給の透明性、環境への責任のもと、持続可能的に良い品質のカカオ豆を提供する。

マルティネス氏は「ネスレは他の11社のチョコレートメーカーや World Cocoa Foundation などの機関と協力し、これらの目的をよりは早く達成することを目指す。」と述べた。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp